お知らせ

山形県青少年育成県民会議の活動にご理解とご協力をお願いします。

7月 令和7年度〝明るいやまがた〟夏の安全県民運動出発式

7月22日（火）の運動期間初日、県庁講堂にて出発式を行いました。青少年健全育成や交通安全などに取り組むこの運動は８月21日（木）まで１か月間展開。副知事の挨拶や小学生、高校生、運動実践者の「安全宣言」の後、パトロール車列を見送りました。出発式を皮切りに、期間中、県内各地域において様々な取組みが実施されました。

11月 インターネット安全利用の研修会

11月28日（金）、オンラインにて「地域の大人のためのインターネット利用に関する研修会」を開催しました。この研修会は、こどもへの助言や指導を行う機会のある地域の大人などが、こどもたちのインターネットトラブルの現状等を理解することで、地域全体で青少年の環境づくりを推進するため開催しています。県消費生活センターの安達美紀氏より課金、架空請求などの社会問題化しているテーマについて教えていただきました。

11月 モンテディオ山形ホーム戦啓発活動

11月９日（日）NDソフトスタジアム山形で開催された、モンテディオ山形ホーム戦で、広報・啓発活動を実施しました。今年度も「児童虐待防止オレンジリボンキャンペーン」と連携して実施しました。ブースでのノベルティ配付をしたほか、ハーフタイム時にピッチを周回し、「“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動」と「家庭の日」の広報のぼり旗で活動のPRを行いました。

“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動

山形県青少年育成県民会議入会のお願い

当会議では、次世代を担う青少年の健全な育成を図るため、「大人が変われば子どもも変わる」県民運動や“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動を展開しています。活動や趣旨にご賛同、ご協力いただける新規会員の方を募集しております。　令和7年11月末の会員数（1,076名）

☆会員の種類と年会費
・特別会員（1口3万円）　・賛助会員（1口5千円）
・団体会員（1口1千円）　・個人会員（1口1千円）

【特別会員】
全国共済農業協同組合連合会山形県本部、全国農業協同組合連合会山形県本部、髙橋畜産食肉㈱、出羽三山神社、(一社)山形県建設業協会、山形放送㈱　（敬称省略・50音順）

【賛助会員】※前号に引き続き、掲載しています。
一般社団法人山形県eスポーツ協会、白鷹キリスト教会、新庄信用金庫、宗教法人 善宝寺、荘内証券株式会社、城東機械製造株式会社、第一貨物株式会社、高畠町青少年育成推進員、TPR工業株式会社、中央印刷株式会社、鶴岡信用金庫、トヨタカローラ山形株式会社、成澤美智子、日東ベスト株式会社、日本生命保険相互会社山形支社、葉山建設株式会社、富士鉱油株式会社、藤庄印刷株式会社、不二工業株式会社、升川建設株式会社、村山市青少年育成推進員協議会、村山地区少年補導連絡会、山形経済同友会、山形県社交飲食業生活衛生同業組合、山形県私立中学高等学校協会、山形県農業協同組合中央会、山形ダイハツ販売株式会社、山形地区保護司会、山形いすゞ自動車株式会社、山形おきたま農業協同組合、山形県カラオケスタジオ協会、山形県コンビニエンスストア等防犯対策協議会、山形県遊技業協同組合、山形県レジャーホテル協会、山形県医師会、山形県私立学校総連合会、山形県自転車軽自動車商協同組合、山形県緑の少年団連盟、山形信用金庫、山形第一信用組合、山形日信電子株式会社、有限会社くまがい、有限会社タカハシ建装、芳野YMマシナリー株式会社山形工場、米沢信用金庫（敬称省略・50音順）

活動の内容などはこちらから▶
会員申込は「メニュー」→「会員募集」の申込フォームから

問合せ・申込み先
山形県青少年育成県民会議事務局
（多様性・女性若者活躍課内）
TEL：023-630-2727
FAX：023-632-8238

「見守る目・育む芽」へのご意見・ご感想をお寄せください。　山形県しあわせ子育て応援部多様性・女性若者活躍課　☎:023-630-2694　FAX:023-632-8238

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

見守る目・育む芽 54　2025年12月　年2回発行（令和７年度）　企画・編集・発行／山形県しあわせ子育て応援部多様性・女性若者活躍課　〒990-8570　山形市松波2丁目8-1　電話023-630-2694　制作・印刷／藤庄印刷株式会社

回覧

山形県青少年健全育成県民運動情報誌・山形県青少年育成県民会議機関誌
2025年［令和7年］12月号

見守る目・育む芽 54

目次

P1 “いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動　P2 山形県青少年健全育成県民大会／いじめ・非行防止セミナー
P3 発表者インタビュー／2025輝く県民活躍大賞／若者支援コンシェルジュ　P4 お知らせ

令和７年度“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動の取組み

児童・生徒の取組みとして、特別支援学校を含む小・中学生に「いじめ防止」標語を、高校生にポスターデザインを募集しました。標語は317校から50,790件の応募があり、今年度は下記４作品が各地区優秀標語に選ばれました。また、ポスターデザインも昨年度を上回る応募の中から、山形県立庄内総合高等学校通信制２年市町春乃さんの作品が最優秀作品となりました。

今年も最優秀のポスターデザインに、優秀標語を掲載した県民運動ポスターを作成し、配付しました。

各学校や関係機関に掲示してもらい、「いじめ・非行をなくそう」という意識の醸成を図るとともに、県民運動の輪を広げていきます。

優秀標語

村山地区
君の番
みんなでつなごう
勇気のバトン
朝日町立朝日中学校　3年　渡邉 未來さん

最上地区
おもしろい?
あなたはそうでも
わたしはちがう
真室川町立真室川北部小学校　2年　佐藤 蓮奈さん

置賜地区
パスまわし
言葉も気持ちも
つなげよう
南陽市立宮内小学校　4年　小原 縁さん

庄内地区
かえたいな
いじめる人と
見てるぼく
三川町立東郷小学校　2年　廣瀬 叶多さん

“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動ポスター

山形県立庄内総合高等学校通信制２年　市町 春乃さん

いじめをなくすためには、「みんなが自分と相手を尊重して、大切に扱うことが必要だ」ということを伝えたくて、このデザインにしました。

家族のきずなを深めよう！ 毎月第３日曜日は「家庭の日」

子育てにおいて家庭が果たす役割は大変重要です。
県では、家族のきずなを大切にする日として、毎月第３日曜日を「家庭の日」と定め、併せて月別のテーマを提案しています。

4月	社会のルールやマナーを身につける
5月	家族で一緒に過ごす時間を増やす
6月	家族みんなで自然に親しむ
7月	夏休みの交通事故や水の事故、子どもの非行を防ぐ
8月	地域の人々とふれあい、交流を深める
9月	お年寄りを敬い、お互いを思いやる
10月	家族で健康づくりをはじめる
11月	働くことの大切さを学ぶ
12月	家族みんなで協力して、仕事を分担して助け合う
1月	新しい年を迎え、一年の計画をたてる
2月	寒さに負けない心と体をつくる
3月	学期の節目を迎え、一年間の子どもの成長を祝う

令和7年度山形県青少年健全育成県民大会

10月26日（日）荘銀タクト鶴岡を会場に、約260名の参加者のもと、令和7年度山形県青少年健全育成県民大会が開催されました。「青少年を地域で見守り、育み、支援する」運動の輪を広げていくことを誓う大会宣言をはじめ、青少年育成功労者や「いじめ防止」標語・ポスター作者の表彰などが盛会のうちに行われました。

県民会議表彰

青少年育成功労者

鈴木彰一さん（米沢市）　鈴木のりさん（米沢市）
富樫文雄さん（酒田市）　小野和人さん（酒田市）
阿部裕子さん（寒河江市）　佐藤和則さん（寒河江市）
富樫啓さん（大江町）

青少年団体育成功労者

伊藤康則さん（山形市）　玉ノ井一さん（山形市）
山口四郎さん（山形市）

優秀標語作者

渡邉未來さん　佐藤蓮奈さん　小原縁さん　廣瀬叶多さん

ポスターデザイン最優秀作品作者

市町春乃さん

いじめ・非行防止セミナー

少年の主張

「命の叫びを伝える」

鶴岡市立鶴岡第二中学校　３年　石塚　桃心さん

第64回山形県少年の主張大会で最優秀を受賞した石塚さんが、自身の経験から得た気づきについて発表しました。

中学1年生の時に訪れたアウシュビッツ強制収容所で、戦争の悲惨さと命の尊さを実感した石塚さんは、その思いを多くの人に伝えたいと自ら企画して展覧会を開催。さまざまな人との出会いを通じて、「小さな行動でも何かを変えられる」「自分の考えにも価値がある」と気づきました。知ること・考えること・伝えることの大切さを学んだ経験をもとに、「命の叫びと平和の大切さを伝えていくこと」を誓いました。

記念公演

「レジリエンスを高めよう」

山形県公認心理師・臨床心理士協会 会長
山形大学教職研究総合センター 客員准教授
伊藤　洋子氏

さまざま場でカウンセラーとして活動を行う伊藤氏は、現代の日本のこどもたちが抱える問題や、悩みを持つこどもへの向き合い方について、データや事例を交えながら解説。「困難を乗り越える力である『レジリエンス力』を育む場を大人が用意しなくてはならない」、「大人がこどもに寄り添うことで、こどもは心を回復させることができる」などと語り、参加者は熱心に耳を傾けていました。

また、大人がついこどもにかけてしまう言葉や、非行に向かってしまう背景についても丁寧に説明があり、こどもとの関わり方を見つめ直すきっかけとなる、有意義な講演となりました。

事例発表

「はぐろ大家族会議の今」

鶴岡市青少年育成市民会議羽黒地区会議
会長 勝木　正人氏

同団体では異世代間の意見交換を目的とした「はぐろ大家族会議」を実施しており、今年度は前年度のワークショップで出た意見をもとに、「羽黒の果物でのケーキづくり」を開催。

勝木氏は、「はぐろ大家族会議のように、大人とこどもが互いに理解を深め合う『共創』の場を設けることで、こどもの非行防止につながる」と語りました。

今後もこの取組みを継続し、より多くの人が意見を交わせる場を広げていきたいとの決意で発表を締めくくりました。

発表者インタビュー

少年の主張発表

県大会最優秀受賞

鶴岡市立
鶴岡第二中学校
３年
石塚　桃心さん

Q どんな気持ちでこの主張に臨みましたか。

私が中学１年生の時、学校に通えなくなった時期がありました。そんな私に両親はヨーロッパに行く機会を与えてくれ、その中で訪れたアウシュビッツで、過去の悲惨な歴史を学び、命や平和について考えるようになりました。また、修学旅行で広島を訪れ、被爆者の方からお話を伺った際、戦争について語る真剣な表情を見て、言葉の重みと命の尊さを感じました。戦争の悲惨を「伝える」ことが、次の世代へ平和をつなぐ力になると気づき、自分自身が変わるきっかけになりました。

その後、一人でも多くの方に平和の大切さを伝えるため、アウシュビッツ写真展を開きました。その中で「過去に辛い経験をしたからこそ、あなたにしかできないことがある」という言葉をもらい、学校に通えなくなった時は辛かったですが、その経験も決してむだではなかったと感じ、少しずつ前に進めました。私がこれまでの経験で得た「一歩踏み出せば変われる」ということを、多くの人に伝えられたらと思います。

事例発表

鶴岡市青少年育成
市民会議
羽黒地区会議 会長
勝木　正人氏

Q 活動の特色や活動を通して感じていることを教えて下さい。

鶴岡市青少年育成市民会議羽黒地区会議主催の「はぐろ大家族会議」では、地域の学生と大人が意見交換をすることで、青少年の非行防止につながる活動を行っています。主宰して９年目になりますが、子どもの新鮮な発想と大人の経験豊かな言葉が重なり合い、唯一無二の会になりました。

こどもの非行防止に特効薬はありません。こどもの問題としてとらえるのではなく、大人も向き合い、こどもの心をどう育んでいくかを考えることが大切で、はぐろ大家族会議は、大人とこどもが継続的に向き合い、共創しているので、地域の非行防止の成果につながっていると感じています。

また、大人がこどもたちの内面を大切にすることで、こどもたちは「帰る場所がある」と感じ、安心できるようになります。それはまちづくりにも通じる考え方であり、地域の力として生かせると思っています。

今後も、一人の人間として尊重しながらこどもたちと向き合い、非行防止と地域の未来づくりにつながる活動を続けてまいります。

2025輝く県民活躍大賞受賞者が決定しました！

県では、子育てや福祉、まちづくりなどの社会貢献活動のうち大きな成果を収めている団体や個人を、輝く県民活躍大賞として顕彰しており、11月25日㈫に県庁で表彰式が行われました。

・・・ジュニア・ユース部門・・・

○置賜農業高校食愛プロジェクトチーム（川西町）
○鶴岡工業高等専門学校サービス・デザイン部（鶴岡市）
○はろハロプロジェクト（新庄市）

・・・若者部門・・・

○やまがた学生情報局（山形市）

ほかに一般社会貢献部門で３団体が受賞しています。

若者向けの相談窓口 若者支援コンシェルジュを活用してみませんか？

若者（高校生～40歳くらいまで）の地域での活動を応援、サポートしています。

◆なんでも相談窓口
地域活動する上で知りたいこと、困りごとなど、相談を受け付けています。

◆若者サポーター
相談内容に応じて、地域活動の実践者が若者のチャレンジをサポートします。

◆やまがた若者交流ネットワークサイト「やまカツ！」
若者のみなさんから寄せられた情報や、地域活動する上で役立つ情報を掲載しています。

＊若者コンシェルジュ事務局
受付：平日9:00～19:00
電話：080-4732-3804